

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
コミュニケーション・プロジェクト HC-6		選択	2	2.3	通年(集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
宇賀 美奈子	B302	m.uga	火曜日 12:10~12:50		
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多様な表現方法・コミュニケーション方法について、実社会の体験活動を実践することを通して、学び得た見識を社会実装化することに挑戦する。</p> <p><概要>HC-6 では、本学の所在地である富士河口湖町の芸術活動への振興に着目し、ステラシアターの運営活動を学び、企画の提案について体験する。さらに実際の音楽イベントにボランティアスタッフとして参加することによって、文化振興局による自治体の取り組み、音楽イベントの企画運営、地域の企業や住民の参加など、イベントに係る多様な側面を、体験を通して学ぶ。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・イベント <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	主体は学生であることを意識して、自ら行動し学んでいってほしい。また、学外の方々と接する機会では自ら積極的にコミュニケーションをとっていくこと。				
教科書	指定しない。				
参考書	授業を通して適宜紹介する。				
外部教材	授業を通して適宜紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	地域の現状を知るための視点と方法を身に着ける。			HC(2)、(3)	
②	芸術に着目した富士河口湖町の文化振興活動を理解し説明できる。			HC(2)、(3)	
③	社会人としての相応しいマナー、姿勢等を体得できる。			HC(1)、(2)、(4)、(6)	
④	問題を解決する方法を主体的に考え、調査し、まとめることができる。			HC(1)、(2)、(4)、(6)	
⑤	相手の立場を踏まえて提案方法を検討し、自らが考えた企画を提案できる。			HC(1)、(2)、(4)、(6)	
⑥					
授 業 計 画					
<p>「ステラシアターに学ぶ企画提案の極意」 富士河口湖町の五感文化構想に基づくステラシアターの文化活動を学び、地域振興とイベント企画のかかわりを知る。</p> <p>①5/11, 5/17, 5/25(3 コマ、時間割の通り) 企画演習 1 : 富士河口湖町の芸術活動について学ぶ。 ②6/1, 6/7, 6/15(3 コマ、時間割の通り) 講義 (野沢藤司氏) : 富士河口湖町の取り組み/ステラシアターの文化活動/イベント企画への取り組みを学ぶ。 ③6/22, 6/29, 7/6(3 コマ、時間割の通り) 企画演習 2 : グループで考えたイベントを企画提案する。 ④6/7(日),6/13(土)のいずれか1日 (9:30~16:00) 「ステラシアター運營業務接遇研修、コンサート開始前環境整備活動」に参加する。 ⑤8~9月フィールドワーク (運営ボランティア体験) 以下の期間のイベントに2日以上参加する。 8月8日(土)~22日(土) 富士山河口湖音楽祭 9月18日(金)~22日(火) 富士山河口湖ピアノフェスティバル ⑥10/7, 10/21, 11/4(3 コマ、時間割の通り) 企画演習 3 : フィールドワークの経験を踏まえてイベントの企画提案をブラッシュアップする。</p> <p>富士河口湖町の取り組み、ステラシアターの活動に関する講義と企画演習の発表回では、ステラシアター館長 野沢藤司氏を特別講師として招聘し、実際の活動について講演いただく。</p> <p style="text-align: right;">必要時間 (単位:時間) : 60 時間</p>					
学 習 課 題 ・ 学 習 時 間					
<p>企画演習 1 では、提示された資料及び自分たちで調べた情報を整理し、グループごとに報告書の形にまとめて発表する。 企画演習 2・3 ではグループごとにイベントを企画し、関係者の合意を得られるような企画提案書を作成する。</p> <p style="text-align: right;">必要時間 (単位:時間) : 30 時間</p>					

【2026 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	45	0	55	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	0	0	0	10	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	5	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	10	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	10	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	グループで取り組んだ企画演習の成果を発表して評価を受ける。 各回 15 点の配点で、教員からの評価、学生間の相互評価を行う。				講評と解説を行い、評価は Teams にて発表する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各企画演習・フィールドワークごとに、自己の活動への取り組みを 記録・評価した活動評価記録の提出を求める。活動評価記録では、 グループメンバーからの他者評価を受けることも含まれる。				活動評価記録はコメントを付 して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし。						
教員の実務経験	なし。						
実践的授業の内容	なし。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> 最少開講人数は 2 名、定員は 10 名とする。 原則として講義と企画演習は学内で、フィールドワークは学外で実施する。 授業計画内①～⑥を通して体験的に学ぶため、自身のスケジュール管理に責任を負うこと。特に、⑤フィールドワーク参加の前提条件として、④「ステラシアター運営業務接遇研修、コンサート開始前環境整備活動」への参加は必須とする。 対面授業であるが、資料配布・連絡等で Teams を使用する。 講義の進行状況によってはシラバス内容に変更が生じる場合がある。その場合は、Teams で周知するため、各自で確認すること。 学外に出る場合は、本学の学生としての品位を守って行動すること。 						